

(5) 東海



東海地域では、景気は力強く回復している。

- ・ 鋳工業生産は増加している。
- ・ 個人消費は緩やかに持ち直している。
- ・ 雇用情勢は着実に改善している。

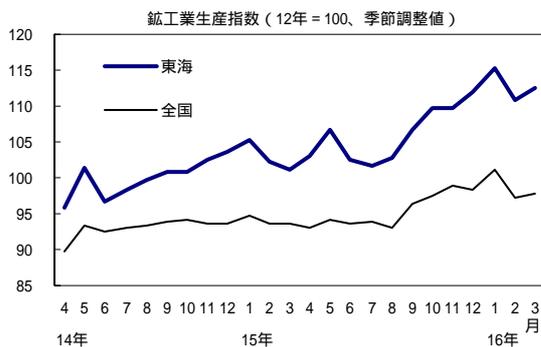
前回調査からの主要変更点

	前回（平成 16 年 2 月）	今回（平成 16 年 5 月）	
景況判断	回復している	力強く回復している	
雇用情勢	改善	着実に改善	

1. 生産及び企業動向

(1) 鋳工業生産は増加している。

輸送機械は、完成車の国内向けではコンパクトカーを中心に弱含んでいるものの、普通乗用車が増加している。輸出处も引き続き高水準となっており、自動車全体としては堅調に推移している。なお、自動車部品も引き続き堅調に推移している。一般機械は、金属工作機械が国内向けの自動車関連を中心に堅調に推移する一方、繊維機械では弱含みとなっている。電気機械は、制御機器が自動車関連に加えて液晶・半導体関連向けに伸びている。窯業・土石は、ファインセラミックスが横ばいとなっているものの、陶磁器がタイルを中心に引き続き低調に推移している。化学は、自動車部品原料等が引き続き高水準を維持しており、全体でも増加している。



（備考）平成 16 年 3 月の東海は速報値。

域内主要業種の動向(季節調整値、前期比増減率) (%)

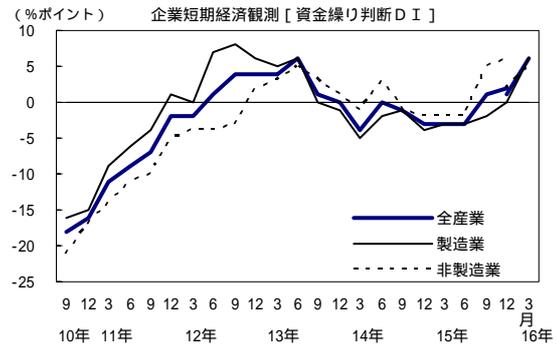
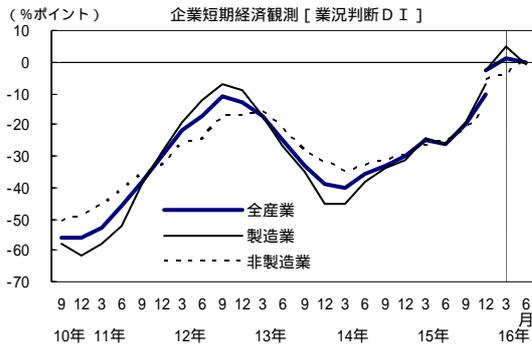
	付加価値 ウェイト	生産		出荷	在庫
		10~12 月期	1~3 月期	1~3 月期	1~3 月期
輸送機械	33.9	9.2	0.6	1.4	15.3
一般機械	11.3	3.3	1.8	0.1	2.6
電気機械	7.3	10.4	2.8	2.9	17.1
窯業 土石	6.1	1.1	1.0	0.1	2.4
化学	5.4	0.5	4.4	2.4	6.1
鋳工業	100.0	6.6	2.1	0.4	0.2

（備考）1. 地域における付加価値ウェイトの高い5業種。

2. 1~3月期は速報値。

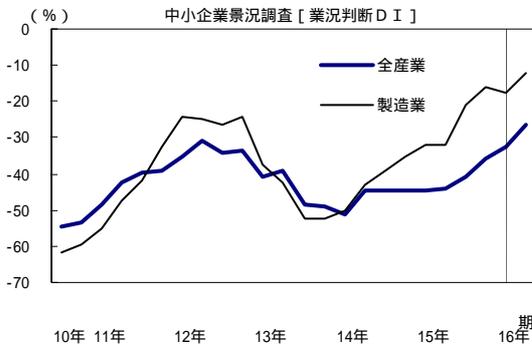
3. 生産指数は東海。出荷、在庫指数は中部。

(2) 企業動向の業況判断は「良い」超に転じ、資金繰り判断は「楽である」超幅が拡大している。
企業短期経済観測調査 [業況判断D I、資金繰り判断D I] 及び中小企業景況調査 [業況判断D I]



(備考)「良い」-「悪い」回答者数構成比。16年6月は予測。
なお、15年12月分については新・旧基準の値を併記。

(備考)「楽である」-「苦しい」回答者数構成比。
なお、15年12月分については新・旧基準の値を併記。



(備考)「好転」-「悪化」回答者数構成比。16年 期は見通し。
中部地区のD I。

景気ウォッチャー調査 (4月調査) [企業動向関連 (現状判断)]

「建設機械用製品の受注は前四半期比で約10%増となっている。ただし大半が輸出用であり、国内向けはまだ大きな伸びにはなっていない (一般機械器具製造業)」など、「やや良くなっている」とする回答が多くみられた。

(3) 15年度の設備投資は前年度を上回る見込みとなっている。

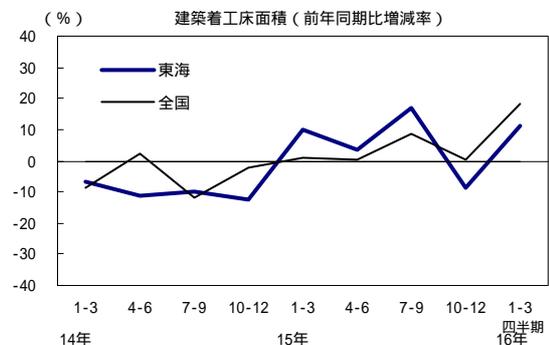
企業短期経済観測調査 [設備投資 (3月調査)]

(前年度比増減率、単位：%)

	15年度実績見込み	16年度計画
全産業	3.6 [7.5]	0.5
製造業	6.5 [8.1]	4.7
非製造業	1.1 [7.0]	3.5

(備考) [] は前回 (12月) 調査結果。

15年度実績見込み及び16年度計画ともに、調査見直し後の基準による。

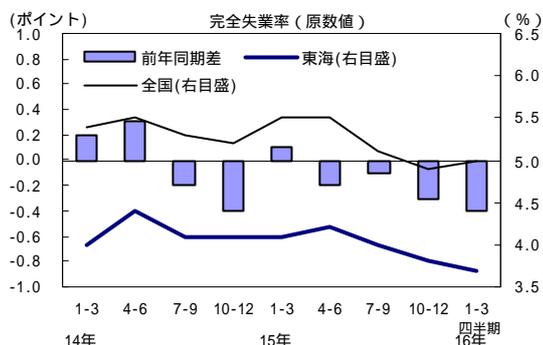
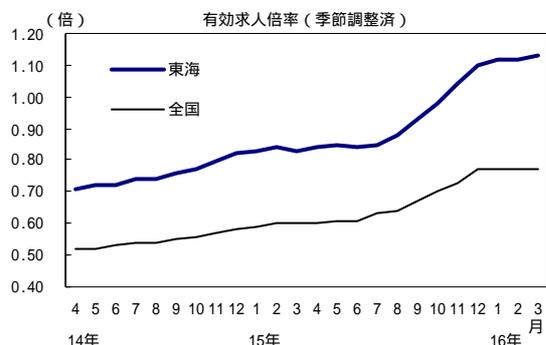


3. 雇用情勢等

(1) 雇用情勢は着実に改善している。

有効求人倍率及び完全失業率

有効求人倍率は上昇している。完全失業率は前年同期を下回っている。



景気ウォッチャー調査（4月調査）[雇用関連（現状判断）]

「新聞の求人広告では、社員、パート、アルバイトのすべてで数字が若干伸びている（新聞社 [求人広告]）」など、「やや良くなっている」とする回答が多くみられた。

(2) 企業倒産は、件数、負債総額ともに減少している。

(3) 消費者物価指数はおおむね横ばいとなっている。

企業倒産

	(件、億円、%)				
	15年4-6月	7-9月	10-12月	16年1-3月	16年4月
倒産件数 (前年比)	407 12.7	350 25.7	336 19.4	336 25.8	104 22.4
負債総額 (前年比)	1,105 57.3	1,605 65.7	4,126 225.6	1,400 12.8	347 14.6



景気ウォッチャー調査（4月調査）[合計DI（特徴的な判断理由）]

<現状>

・金曜日の夜の歓楽街には客が確実に戻ってきている（タクシー運転手）

<先行き>

・受注機会は増加傾向にあるが、単価に相当の開きが出ており、受注には慎重にならざるを得ない。また、施主側では単価だけでなく、質の良い優良業者を選別する傾向も増している（建設業）

